



さいわい

小樽市立幸小学校
学校便り
第5号
令和2年7月13日発行

令和2年度 重点教育目標 共に生きる幸の子～想像と創造～

幸小Web <http://www.otaru.ed.jp/saiwai-ps/>

共に生きる

私たちが子どもの頃は、駅で切符を切る駅員さんがいました。今はカードをかざすだけ。車の自動運転・ドローンを活用した流通等々、どれも私たちが豊かに安心して生きていける世界につながります。AIが劇的に進化し、さらにその活用場が広がっていく時代だからこそ、様々な考えの人、国籍の違う人とも協働してよりよい方法を想像し、新しい価値を創造していくための知識や技能とその意識を大切にしたい。幸小学校の子ども達に、友達の気持ちを想像し、自分の将来を想像し、生活の仕方や勉強の仕方を創造し、自分の未来を創造してほしい、特に今年はこのことについて子ども達に語りかけ、指導しています。1学期の終わりに、

「友達の気持ちや考えを想像していますか？」
「気持ちが温かくなる言葉を使っていますか？」

と、子ども達に問いかけます。保護者の方にもお子さんの様子についてうかがいます。私たち職員も子ども達の様子をこの視点で振り返ります。子どもを中心に願いを共有して進めることで、「共に生きる」ことの大切さや・楽しさ・豊かさを子ども達に伝えていきましょう。

<目指す子どもの姿>

想像

共に生きる幸の子

創造

◎相手の気持ちや考えを想像している。

- 友達の意見をうなずいたり、首を傾けたりしながら聞いている。
- 自分の考えとの共通点や相違点について考えている。
- 友達の意見を理解し、認めている。
- 友達の気持ちに共感している。
- 相手の立場になって考えている。

◎気持ちが温かくなる言葉を使っている。

- 困っている人の気持ちに寄り添って話を聞き、声をかけている。
- 話し合い活動で、建設的な意見を出している。
- 友達の意見に共感しながら発表している。

<あったかい言葉>

ありがとう いいね わかったよ 一緒に帰ろう 一緒に遊ぼう 一緒にやろう 楽しいね
うれしいね がんばっているね ぜったいできるよ こっちがいいんじゃない 分かるよ
ごめんね すごい カッコいい 上手 優しいね 面白いね 大丈夫 がんばろう
ファイト ナイス ドンマイ 次がんばろう おめでとう 友達だよ お先にどうぞ
おはよう さようなら いいよ あなたのおかげ 手伝うことはない? 笑顔が素敵
なるほど その通り よかったね えらい またやろうね

全校朝会でこの話をした後、校舎内で床を拭いていた私に「いつもありがとうございます。」と言葉をかけてくれた子がいました。気持ちが温かくなりました。打てば響く子ども達です。

今後の教育活動(行事)について

学校においては、子ども達の安心・安全を第1に考え、市教委・道教委の通知をもとにして、各種行事の実施を見送って参りました。しかし、コロナウイルス感染症拡大に最大限配慮した「学校の新しい生活様式」を整えるとともに、できる限り子ども達の様々な活動・活躍の場も保障していきたいと考えています。とりわけ、各教科の学びはもちろんですが、学校の教育活動で培われる様々な力を考えた時、努力して・悩んで・協力して・活動する学校行事には大きな役割があり、その適切な実施を目指しています。例年と同じ内容での実施が困難な行事もありますが、今まで実施を見送ってきた行事や今後の行事について、下記の日程での実施を予定しています。尚、これらについては、現時点での予定であることをご承知おきください。変更時は速やかにお知らせします。

記

行 事	期 日	内 容 等
5年宿泊学習	9月7日(月)～8日(火)	○おこばち山荘利用
ミ二運動会	9月18日(金) 午前開催	○徒競走・表現運動等
6年修学旅行	10月21日(水)～22日(木)	○函館方面 湯の川温泉泊 ○観光バス・JR 利用
学習発表会	11月20日(金) 午前開催	○日常の学習の成果を発表 →音楽・体育・総合的な学習のまとめ等 ○各学年が順番に体育館で発表 ○保護者は体育館で参観 ○児童は各教室でテレビ(生中継)参観

※それぞれの行事の詳細は、後日お知らせいたします。

おたるスマート7の取組

北海道・小樽市の子ども達は全国に比べて、スマートフォンやゲーム機・インターネット等の利用に費やす時間が長い傾向があります。本校においても、同様の傾向が見られ、下表のように特に高学年になると、それに費やす時間が急増します。

(昨年10月の調査結果)		低学年	中学年	高学年
「携帯・ゲーム」の1日の使用が1時間を越えている児童の割合	平日	13%	12%	51%
	週末	19%	26%	61%

小樽市では、「おたるスマート7」として、スマートフォンやゲーム機・インターネット等の利用に関わってのルール作りを進めてきました。その一つに「1日1時間以内とし、夜9時以降は使用しません。」という項目があり、これに関わっても、下表のような本校の結果になっています。また、利用時間が増えることにもなって、SNSの不用意な利用に関わったトラブルも起きています。

守っていると回答した割合	平成30年度	令和元年度
児童アンケート回答	50%	53%
保護者アンケート回答	59%	56%

昨年、生活リズムチェックシートを活用した振り返りを数回行いました。その中で、保護者の方がお子さんとあらためてルールを確認して約束したり、一緒に読書に親しむことを行ったり、目的を明確にして関わったことで、ゲーム等に費やす時間を10数分(学校全体の平均値)縮めることができました。「おたるスマート7」の啓発チラシを配布します。そこには、家族とルールを確認し、署名する欄があります。ぜひ、各家庭のルールも含めて、適切な利用の仕方をお子さんと一緒に考えて、そのルールを忘れないように、一緒に署名してください。子ども達が、取り返しのつかない無用なトラブルに巻き込まれないように、よろしくお願いします。

